

連続講演会「知舞い学躍る。大妻の空、大妻の夏」

サブカルチャーの現状

石岡 良治 氏（早稲田大学准教授）

日時：平成30年 8 月 11 日（土祝） 15：00～16：30

場所：多摩キャンパス7号館

（講演教室は、当日、掲示にてご案内いたします）



<講師紹介>

石岡 良治（イシオカ ヨシハル／ISHIOKA Yoshiharu）

早稲田大学准教授。

東京都立大学卒業、東京大学大学院総合文化研究科（表象文化論）博士後期課程単位取得満期退学。日本の批評家。

『ユリイカ』や『PLANETS』などにポップカルチャー関係の論考を多数寄稿しており、「最強の自宅警備員」とも呼ばれる。「月刊 石岡良治の最強☆自宅警備塾」が好評を博す。

<講演概要>

「視覚文化<超>講義」という本が出て大きな話題になっているらしい。これほど似たテーマで、僕好みの<超>までついている。何か挨拶が来て、縁ができそうという予感がした。現に読んでみるとサブカルチャー青年達の独りよがりマニア本と違って、きちんとハイカルチャーとのつながりも書けていたので感心して褒め書評を書いたら、公開対談の運びとなった。会って見て驚いた。大妻女子大の比較文化学部で教えている。つまりは僕の同僚なのだ。しかも東京都立大学時代、僕の学生であり、宇沢美子の学生であり、さらに宮台真司の学生でも会ったことが判明し、石岡氏をお呼びすることで実に期せずして、東京都立大学が首都大学東京に統廃合されることに絶妙に反映された1990年代、バブル以前と以後の違い及びバトタッチの様子がわかってくる意外な面白身もありそうだ。後世おそるべし。自分は若い文化を何も知らないのだと震撼させられた怪物。早稲田の時代、来そう！



（大妻女子大学副学長 高山宏先生 記）